

一 般 質 問 発 言 通 告 表

平成28年9月市議会定例会

(質問予定日 9月5日)

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
1	8番 長南 誠 (一括)	1 市長の政治姿勢について 2 教育行政について	1 市長の在任期間が3年を過ぎ、市政に対する思いと今後の村山市づくりについて 2 市長選挙への抱負は 1 東桜学館中学校開校に伴う市内小中学校への影響と今後の児童生徒への対応と指導について 2 小学校統合について 3 市内中学校のクラブ活動指導方針とクラブの強化について	市 長 教育長 関係課長
2	4番 結城 正 (一問一答)	1 地域の活性化にむけて 2 農業委員の選出方法の変更について	1 村山市には、旧町村単位に8地域があり、各地域に市民センターを配置し、各地域のまちづくり協議会と協力しながら、地域の活性化をはかり、村山市のにぎわいづくりを担っています。さらに、村山市の活性化、にぎわいづくりをはかるためには、各市民センターの体制強化・まちづくり協議会の協力なしには、あり得ないと考えます。市として、市民センター・まちづくり協議会の今後のあり方についてどのように考えているのか (1) 各市民センターについて ① 今後の市民センターのあり方について ② 職員の配置について (2) まちづくり協議会について ① 今後のまちづくり協議会のあり方について ② 各地区行政委員・地区長の任務について 1 農業委員会法の一部改正が、平成28年4月1日から施行され、いままでの公選制から任命制に変更になります。村山市の現在の農業委員の任期は、平成29年7月19日までですが、新制度の移行にむけどのように準備をしているのか (1) 移行にあたって市としての考え方について ① 今回の改正について市は、どのように考えているのか ② 準備は、どこまで進んでいるのか (2) 今後の進め方について ① 準備の日程は ② 委員等の定数、選任方法は	市 長 農業委員長 関係課長

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
3	6番 菊池 貞好 (一問一答)	1 楯岡地域の継続的な開発整備計画について	1 東沢公園周辺の観光行政と既存施設の整備計画はどの様に進めるのか 2 市外、県外、国外からの観光客を呼びこむために東北中央自動車道村山ICから駅西を経由して東沢公園までのアクセス道をどう推進していくのか 3 楯高跡地の文教施設の誘致活動はどこまで進んでいるのか 4 甌葉プラザを核とした楯岡商店街の活性化は空き店舗利活用を含めどう進めるのか 5 楯岡地域には数種の「まちあるきマップ」があるが、まちづくりを進めるにあたり、今後どのような利活用を考えているのか	市長 教育長 関係課長
4	2番 高橋 菜穂子 (一問一答)	1 子育て支援について	1 0～2歳児の保育の希望が増加しているが、要望に応えきれていないように思うが、今後の見通しと、計画、対策を伺う (1) 認可保育園における0～2歳児の保育数と今後の見通しについて (2) 一時保育の利用者数について (3) 保育士の確保について 2 各種子育て支援事業を利用者の視点から、分かりやすくすべきだと考える (1) 子育て支援事業の内容と場所について	市長 関係課長
		2 河西地区の人口対策について	1 河西地区を住みやすい地域にしていくための施策を問う (1) 買い物弱者への対応について (2) 東西二号線(仮称)の進捗状況とねらう効果について	
5	1番 菊池 大二郎 (一問一答)	1 観光行政の在り方について	1 先般、3日間の徳内まつりも無事閉幕した同まつり、東沢バラ公園及び居合関連を含めた将来性について問う (1) 徳内まつり、東沢バラ公園について ① 観光客数の動向及び取り組みを含めた近年の状況は ② マンネリ化、構造的な問題にいかに関行政として向き合うか ③ 商品開発の可能性は (2) 居合関連について ① 新たな一手についての進捗状況は ② 2020年の東京五輪開催に向け海外観光客誘致のための整備が急務と考えるが居合に関する構想はあるか	市長 関係課長
		2 駅西開発の在り方について	1 停滞している事業もあるため、施政の方針を問う (1) ビジネスホテル建設について ① 現状の把握 ② 契約の内容及び有効性について ③ その他事業の選択肢は有り得るのか (2) バラ回廊(仮称)について ① 同事業案はすでに決定しているようだが、決定にいたるまでの経緯を問う ② 同事業の維持管理も含めた具体的な内容及び将来性は (3) その他の周辺整備について	

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
6	10番 川田 律子 (一問一答)	1 地域で暮らし、地域が支える介護保険にするため	<p>1 厚労省は、現在1割負担となっている介護保険の利用料を2割に引き上げるなど、大幅な負担増を強いる見直し案を示した。すでに示されている「要介護1・2」の人に対する生活援助や福祉用具貸与の自己負担とあわせて耐え難い取り上げと負担増を強いるものである。度重なる介護保険制度の改悪から地域住民をどう守るのか自治体の向き合い方が問われていると思うがどうか</p> <p>(1) 要支援1・2の人の予防給付から地域支援事業(総合事業)への移行について</p> <p>(2) 新たな改定案では、要介護1・2の生活援助、福祉用具貸与、住宅改修を原則自己負担としている。介護保険の利用料を所得に関係なく2割負担とする案が出されているが、市としての対応は</p> <p>(3) 要介護1・2の人達が、特養ホームに入れなくなり行き場のない介護難民として放置されているのでは</p> <p>(4) 介護報酬の大幅削減により、市内の施設への影響として、サービスの後退、職員の処遇悪化になっていないのか</p> <p>(5) 認知症対策の国家戦略「新オレンジプラン」の策定により「認知症初期集中支援チーム」が2018年から全市町村への配置や「認知症カフェ」も重視しているが、軽度者を切り捨てる改悪のもとで矛盾が生じると思うがどのように進めていくのか</p>	市長 関係課長
7	11番 中里 芳之 (一問一答)	<p>1 子どもの貧困について</p> <p>2 市長の政治姿勢について</p>	<p>1 子どもの貧困にどう向きあい、どう解決していくか</p> <p>(1) 子どもの貧困率急増の背景をどうとらえているか</p> <p>(2) 本市における子どもの貧困の実態をどう把握しているか。また、実態把握のための体制はどうなっているか</p> <p>(3) ひとり親家庭の実態はどうなっているか</p> <p>(4) 本市の就学援助の支給率は、子どもの貧困率の急増に対応しているか</p> <p>(5) 高校卒業までの医療費無料化拡大や就学援助の拡充を求める</p> <p>1 参議院選挙、東北6県の選挙区での結果をどう受け止めているか</p> <p>(1) 特定候補の応援は、TPPに反対だという市長の立場と矛盾しないか</p> <p>2 市長の公務と政務の区別について</p> <p>(1) 特定候補の応援のために公権力を行使することは民主主義のルールに反するが、そのようなことはなかったか</p> <p>(2) 公務の公開と公用車使用の透明化について</p>	市長 教育長 関係課長

質問者欄の(一括)及び(一問一答)とは、次の質問方式の略称です。

(一括) …一括質問・一括答弁方式

(一問一答) …一括質問・一問一答方式